

仙台高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語 B Ⅲ
科目基礎情報					
科目番号	0026		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	名取キャンパス一般科目		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	Start-Up Course for the TOEIC L&R Test				
担当教員	飯田 清志				
到達目標					
TOEICや実用英語技能検定などの資格試験を視野に入れながら、リスニングおよびリーディングにおける基礎的な英語力を身につける。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	ビジネス・生活の場面で必要な基礎的な聞き取りができる		ビジネス・生活の場面で必要な基礎的な聞き取りがほぼできる		ビジネス・生活の場面で必要な基礎的な聞き取りができない
評価項目2	ビジネス・生活の場面で必要な基礎的な読み取りができる		ビジネス・生活の場面で必要な読み取りがほぼできる		ビジネス・生活の場面で必要な基礎的な読み取りができない
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	外国語として英語を学ぶ日本人が、英語圏で仕事や生活をする上で必要な聞き取りと読み取りの基礎的な英語力を豊富な演習によって身につける。				
授業の進め方・方法	各ユニットをリスニング部とリーディング部に分け、2回の授業で1ユニットを完成させる。授業には問題の予習をして臨むこと。問題の回答を質問し、重要事項について説明する。関係する語彙、語法、文法の習得を重視し、授業冒頭に前回授業の確認試験を実施するので、復習も必須である。学期の中間期に総合試験を実施し、習熟度を測る。期末試験では学期の学習内容を出題し、定着度を測る。				
注意点	リスニングにおける予習、リーディングにおける復習を行って授業に臨むこと。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の進め方と計画について	
		2週	Unit 1	交通と情報案内についての聞き取りができる	
		3週	Unit 1	交通と情報案内についての読み取りができる	
		4週	Unit 2	指示と説明についての聞き取りができる	
		5週	Unit 2	指示と説明についての読み取りができる	
		6週	Unit 3	飲食についての聞き取りができる	
		7週	Unit 3	飲食についての読み取りができる	
		8週	総合試験	Unit 1 から Unit 3 までにに関するリスニング試験と解説	
	2ndQ	9週	総合試験	Unit 1 から Unit 3 までにに関するリーディング試験と解説	
		10週	Unit 4	ビジネスについての聞き取りができる	
		11週	Unit 4	ビジネスについての読み取りができる	
		12週	Unit 5	通信とコミュニケーションについての聞き取りができる	
		13週	Unit 5	通信とコミュニケーションについての読み取りができる	
		14週	Unit 6	社交についての聞き取りができる	
		15週	Unit 6	社交についての読み取りができる	
		16週	前期期末試験		
後期	3rdQ	1週	Unit 7	招待と案内についての聞き取りができる	
		2週	Unit 7	招待と案内についての読み取りができる	
		3週	Unit 8	医療と保険についての聞き取りができる	
		4週	Unit 8	医療と保険についての読み取りができる	
		5週	Unit 9	文化と娯楽についての聞き取りができる	
		6週	Unit 9	文化と娯楽についての聞き取りができる	
		7週	総合試験	Unit 1 から Unit 9 までにに関するリスニング試験と解説	
		8週	総合試験	Unit 1 から Unit 9 までにに関するリーディング試験と解説	
	4thQ	9週	Unit 10	買い物についての聞き取りができる	
		10週	Unit 10	買い物についての読み取りができる	
		11週	Unit 11	運動とフィットネスについての聞き取りができる	
		12週	Unit 11	運動とフィットネスについての読み取りができる	
		13週	Unit 12	トラブルと申請についての聞き取りができる	
		14週	Unit 12	トラブルと申請についての読み取りができる	
		15週	まとめと復習		
		16週	後期期末試験		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0